

柴田南雄 （しほのり） 作曲家、音楽評論家。大正五年九月二十九日東京生れ

（一九六一）。筆名南辰雄、夏目利江、大久保正。父は柴田雄次（化學

者、日本學士院院長・文化功勞者）。昭和十四年東京帝國大學理學部

植物學科卒、十八年同人文學部美學美術史學科卒。二十一年戸田邦雄

入野義朗等と新聲會を結成。二十二年、立原道造の詩を使い、歌曲集

『優しき歌』を發表。二十二年、二十世紀音楽研究所を設立。桐朋学園

大學・東京藝術大學教授歴任。平成四年文化功勞者。

著書 『キリシタ踏繪』（合著・キリシタン文化研究會編、昭和二十四

年六月五日白録社）、『フインランドの文化』（合著・桑木務編、昭

和二十六年四月十五日北歐文化協會「北歐文化叢書」）、『西洋音楽

入門』（合著・河上徹太郎編、昭和二十年九月二十日京都・人文書

院）、『現代音楽』（昭和二十五年十月二十一日修道社「現代選書」）、

『現代芸術用語辞典』（合著・現代芸術研究所編、昭和二十一年二月

二十日河出書房「現代芸術講座」、再刊。九月十日「河出新書」）、

『現代の作曲家』（昭和二十二年五月二十日音楽之友社）、『現代音

楽の歩み』（昭和四十年二月十日角川書店「角川新書」）、『ログスタ

ブ・ターラー 現代音楽への道』（昭和五十九年十月二十一日岩波書

店「岩波新書」）等。